

# 代表質問・一般質問

## 市の明日を考える!

3月定例会では、5会派5人の議員が市政に対する代表質問を行いました。  
また、引き続き13人の議員により一般質問も行われました。  
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画中継をご覧くださいませ。

[発言順]



平栗 征雄

[市政刷新会議]

代表質問

市民との協働による地域づくり推進事業とは

健康寿命延伸・生涯学習環境整備の重点事業は

問 変更点の住民説明会を開く考えはあるか。

答 地域の社会的な課題に対して、市民が地域全体の視点に立ち、それを解決する地域づくり団体等の自立的活動事業に対して助成を行うもので、支え合いと活力ある地域社会を創造することがこの制度の目的。2月の行政区長会議で説明したが、4月の行政区長会議で再度説明を行い、概ね5月下旬までに事業申込みを集約し決定をしていただく。

問 市民プール管理運営経費の中で、送迎バス等の

配慮はできないものか。

答 二本松地域の「ようたすカー」は、プールまでの利用は可能である。その他の送迎バスについては、指定管理者と何度か協議しているが、現状では難しいと考えている。

問 月単位の定期券を3カ月とか6カ月券にはできないものか。

答 現状の利用者の割合では1回券の利用者が多い。長期の定期券については、現時点では考えていないが、指定管理者と検討したい。

代表質問

産科医師確保、医療施設整備の見通しは

東部地域の交通網整備を国・県へ要請すべき

佐藤 源市

[あぶくま会]



問 産婦人科開設の具体的計画として、どの程度の医師の確保が必要か。

答 出産体制の確保に3名の医師が必要であり、近年は小児科医師等を含む5名程度の医療チームが必要との指摘もある。

問 医療施設の場所・年次計画は。

答 出産体制や小児科設備を持つ二本松病院を想定しており、医師の確保には至っていないことから、年次計画を示すことはできない。

問 国道4号安達ヶ原入口交差点の渋滞解消のた

め、立体交差を国・県に要望すべき。

答 交差点改良の早期事業化について、国・県等関係機関に対して強く要請していきたい。

問 東部地域振興と防災対策のため阿武隈川に2本の橋を建設するよう国・県へ要請すべき。

答 2本の新設橋梁は今後の交通状況を観察しながら研究課題として考える。

問 県道原町二本松線伏返地内改良整備は。地域的生活道路、浜通りへの連絡路として重要な路線であり、早期事業化に向け強く要望する。



## 菅野 寿雄

[市政会]

## 産科医師確保対策事業の実効性を問う

- 問** この事業の目標について問う。対象とする医療機関と目標とする態勢は何名か。
- 答** 出産体制や小児科設備を持つ二本松病院を想定しており、目標として産科・小児科合わせて3名の確保を図りたいと考えている。
- 問** 「拠点病院への産科医師集中配置」という国・県の施策とどのように擦り合わせているか。
- 答** 県は医師の基幹病院への集約化を進めているが、二本松病院は集約拠点病院とはなっておらず、本市への医師配置の優先度は低い状況

- である。また国の配置計画もない状況である。
- 問** 二本松病院の運営母体であるジェイコー（JCHO）との擦り合わせはされているのか。
- 答** ジェイコー本部において、理事長との協議を行ったが、傘下の57施設でも産科・小児科・麻酔科等の医師が不足しており県の計画等に沿って対応せざるを得ない状況であることが示された。
- 問** 個人への助成金支出は公金の性格に馴染むか
- 答** 最重要政策実現のためには必要と考える。

## 代表質問

## 原発ゼロ、再生可能エネルギーの取組みは

## 原セ地区・汚染土壌の実証事業は約束違反では

## 齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- 問** 「原発ゼロ」への市長の見解と新設する新エネルギー系の役割と方向性は。
- 答** 原発事故を経験した市長として、市内の使用電力はすべて、市内の再生可能エネルギー・自然エネルギー発電で供給し、市民が中心となった電力会社で原発ゼロの社会をめざす。新設する係は、新エネルギー推進の総合的な窓口となり、エネルギーの地産地消で地域に資金が循環し雇用が創出され、経済の好循環を目指す。
- 問** 市内全世帯及び市の施設の電力消費量と金額、

- 新電力に切り替えた場合の電気料金は。
- 答** 一般家庭、商店、飲食店等で年間推計1億2,127万kw、約30億円。市の公共施設では2億7,850万円。新電力を導入した場合のシミュレーションでは、本庁舎で4%から14%程度の削減が見込まれることから、導入の準備を進める。
- 問** 実証事業は、汚染土壌を全量中間貯蔵施設に運ぶとした「除染実施計画」の約束違反では。
- 答** 環境省は最終処分量を低減するため、安全に十分配慮し、再生利用を進めると考えている。

## 代表質問



## 五十嵐 勝蔵

[真誠会]

だれもがいきいき生活できるいのち輝く二本松とは  
二本松駅南広場整備、下成田地区まちづくりの状況は

- 問** 住みやすい二本松をつくる「安心度」「利便性」「快適度」「住民水準充実度」実現に向けた取り組み方針について伺う。
- 答** 二本松市に生まれて、育って、住んで、本当に良かったと思えるような、平和で豊かな「住み良い二本松市」の実現と、市政改革の着実な実行によって「持続可能な自立した自治体」を市民の皆さまとともに築いていく。
- 問** 産婦人科医の確保について伺う。
- 答** 医師確保対策事業の充実・拡充を図り、関係機

- 関、団体等への要望・要請の強化と合わせ、本市の重点施策として進めていく。
- 問** 二本松駅南広場整備と向原上竹線を結ぶ幹線道路の事業完了年度について伺う。
- 答** 平成29年度で基本設計を実施しており、現在、地域住民の皆さまと協議を進めている。協議が整った時点で平成30年度には実施設計と用地測量に着手したいと考えている。現時点で事業の完了年度を明確には言えないが、スピード感を持って進めていきたい。